

社協 あつぎ

発行 社会福祉法人
厚木市社会福祉協議会
〒243-0018 厚木市中町1-4-1
保健福祉センター内
電話 046-225-2947 (代表)
FAX 046-225-3036
soumu@shakyo-atsugi-kanagawa.jp
http://www.shakyo-atsugi-kanagawa.jp



社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、市民の皆さまの参加と協力によって地域福祉の推進を図ることを目的とする民間の福祉団体です。

「地域包括ケア社会」の実現に向けて

第6次 地域福祉活動計画 スタートします

本会活動の今後3年間の道標となる「第6次地域福祉活動計画」(令和3~5年度)が、4月1日にスタートします。
地域包括ケア社会の実現に向けた取組の一翼を担うべく、行政計画である「厚木市地域福祉計画」と同じ基本理念を掲げつつ、「社会福祉協議会」だからこそできる活動を進めます。



▶ 基本理念 見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり

▶ 活動目標

- | | | | |
|------------------|---|---------------------------|--------------------------------|
| 1 断らない相談から地域づくりへ | ひとりの課題を「みんなが暮らしやすい福祉のまちづくり」へつなげる | 5 パートナーシップ(協力関係)で目標を達成しよう | 地域の中で住民、団体、企業等がつながり、活動する取組を進める |
| 2 すべての人に居場所とやりがい | 全世代の人が、やりがいと役割を持つことができるまちをつくる | 6 安心して暮らせる環境を整えよう | 誰もが安心して生活ができるよう、暮らしやすい環境を整える |
| 3 福祉の土壌を耕そう | 地域に住む一人一人が持つ思いやりの心を育てていく | 7 「見える社協」「頼られる社協」になろう | 地域から頼られる社協になるための取組を進める |
| 4 自分らしい生活を続けよう | 本人の思いに寄り添い、権利擁護の支援が必要な人に適切な支援が結びつく環境を整備する | | |

具体的な活動内容等は本会ホームページでご覧いただけます。

厚木社協 検索



「つながる」を続ける ～ 地域での取組 ～

「新しい生活様式」を求められて一年余り。例年であれば各地区で地域福祉推進委員会が行う子育てサロンやミニデイ、敬老事業などの活動が日々実施され、また第2層協議体でも「助け合い・支え合い」を進めるための話し合いが行われていました。今年度は「顔を合わせて話をする、食事をとる」「一緒にスポーツをする」などの活動ができます。「つながる」ことが難しい状況が続いています。それでも各地区では、この状況でできることを考え、動いています。今までの「つながり」をなくさないために、今までとは違う形で「つながる」を続けています。今回は、南毛利地区と睦合南地区の取組を紹介します。



← 南毛利地区第2層協議体 毛利台地区 地域課題検討部会

コロナに負けず諦めず、「地域内であつたらいいな」という取組や活動の実現に向けて各部会で話し合いを重ねています。その内容がホワイトボードにぎっしり！制限が多くなっている今だからこそ考えついたり、今までできなかったことにチャレンジできるようなことがあるのかもかもしれませんね。

睦合南地区地域福祉推進委員会 →

新規事業として「子ども食堂」を計画していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため地区在住の子育て家庭や高齢者を対象とした「食材の無料配布」に変更。配布する食材は個人をはじめ、JA・生協・落合農園・オキノパン等多くの皆さんから提供していただきました。今だからこそできる「つながり」を大切にしています。

